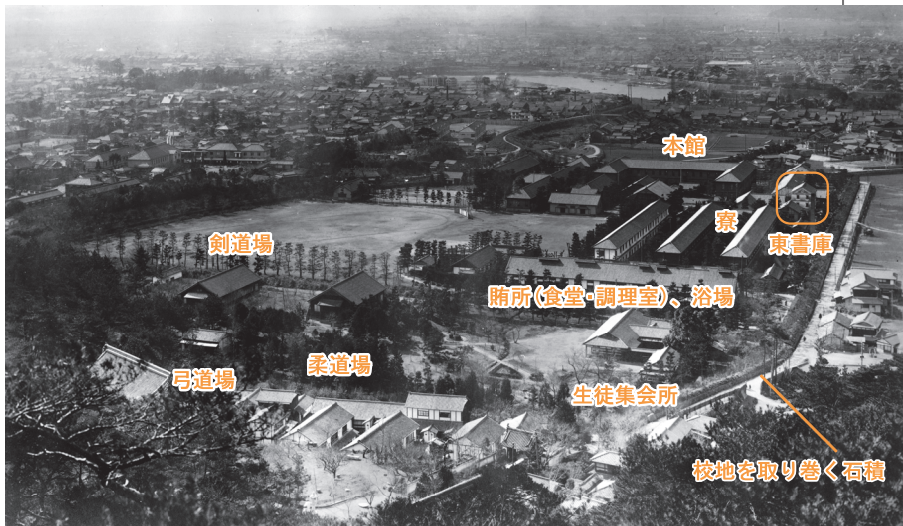


岡山朝日高等学校／旧第六高等学校 校内歴史散策マップ

岡山朝日高校同窓会は創立150周年記念事業の一つとして、朝日高校内に朝日高や第六高等学校の歴史を紹介する説明板を設置しました。校内散策を通じて、その歴史に触れていただけたら幸いです。

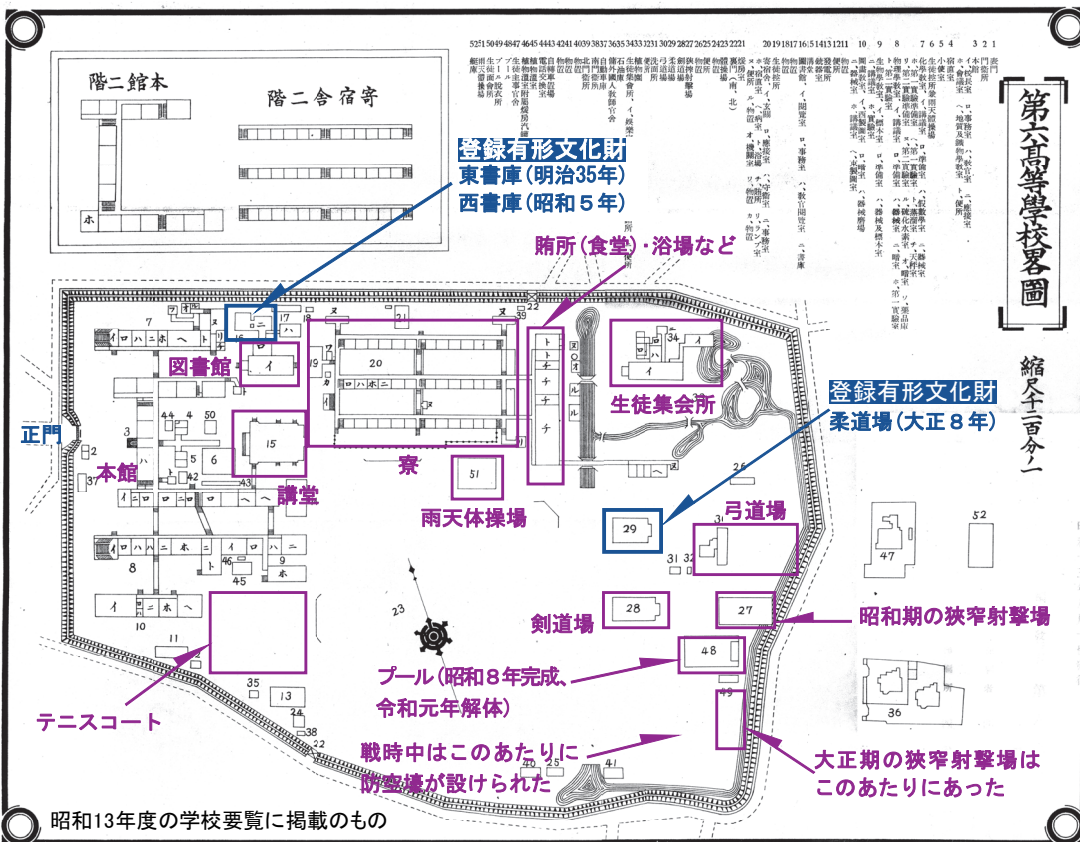


開校間もない頃の第六高等学校（明治34年（1901）頃）



操山からの鳥瞰写真（大正15年（1926）の第六高等学校の卒業アルバム掲載）

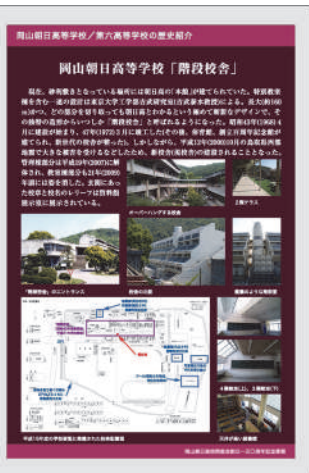
■旧第六高等学校の校舎配置図



登録有形文化財
東書庫（明治35年）
西書庫（昭和5年）



柔道場（大正8年（1919）完成）



説明板の例
岡山朝日高等学校「階段校舎」

朝日高の現校地は、岡山県や岡山市が費用を分担して第六高等学校（官立）の開校のために水田を埋め立てて整備したものです。六高は高等学校令に基づき、新規に設置された初の旧制高等学校として明治33年（1900）3月に設立されました。当時の高等学校は帝国大学の予備教育を行う高等教育機関という位置付けであり、修業年限は3年、寮生活が基本でした。六高は昭和20年（1945）6月29日の空襲で建物のほとんどを失い、戦後、校舎の再建が図られたものの、24年（1949）5月に岡山大学が開学するとこれに包括されることになり、翌年3月末で閉校となりました。同年8月、朝日高が借り受けることとなり、以後、中山下校舎（現在は岡山市立岡山中央中学校が建つ）や内山下校舎（岡山城本丸跡）から順次移転を進め、28年（1953）8月に現校地への統合を完了しました。岡山朝日高校では創立100周年の昭和49年（1974）までに、本館（いわゆる階段校舎）、特別教室棟、体育館、創立百周年記念館などが建設されて校舎が一新されましたが、平成16年（2004）に新たな校舎の建設が始まり、平成19年（2007）1月、現在の校舎に引っ越しました。

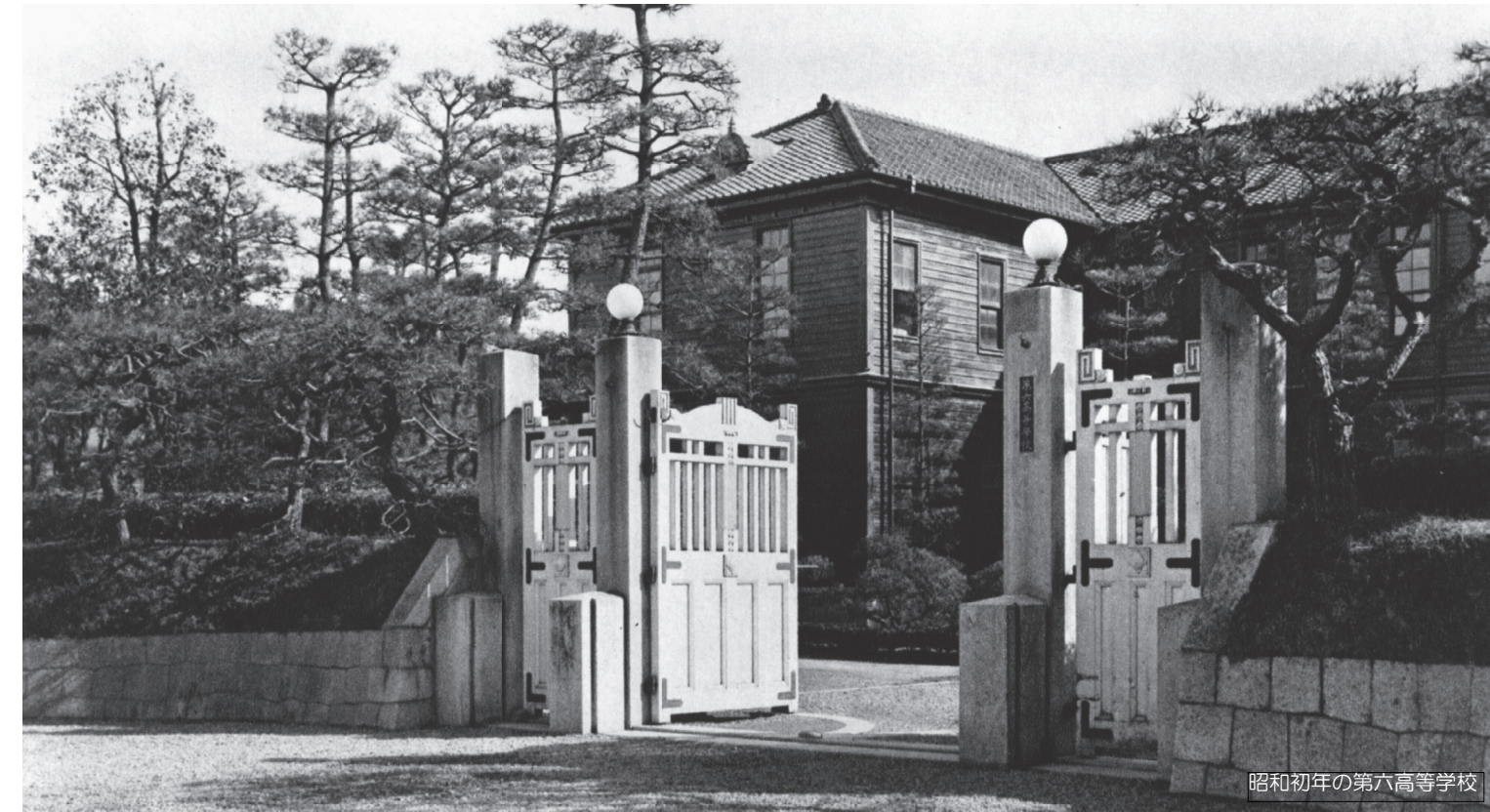


在りし日の旧本館（階段校舎）
昭和47年（1972）完成、平成21年（2009）解体

岡山藩学校跡（明治8年～29年(岡山中学)、昭和11年～25年(岡山二女・岡山二女高・朝日高)

岡山城西ノ丸跡〔創立の地〕（明治7年～8年）

岡山城本丸跡（明治29年～昭和28年
（岡山中学、岡山一中、岡山一高、朝日高）

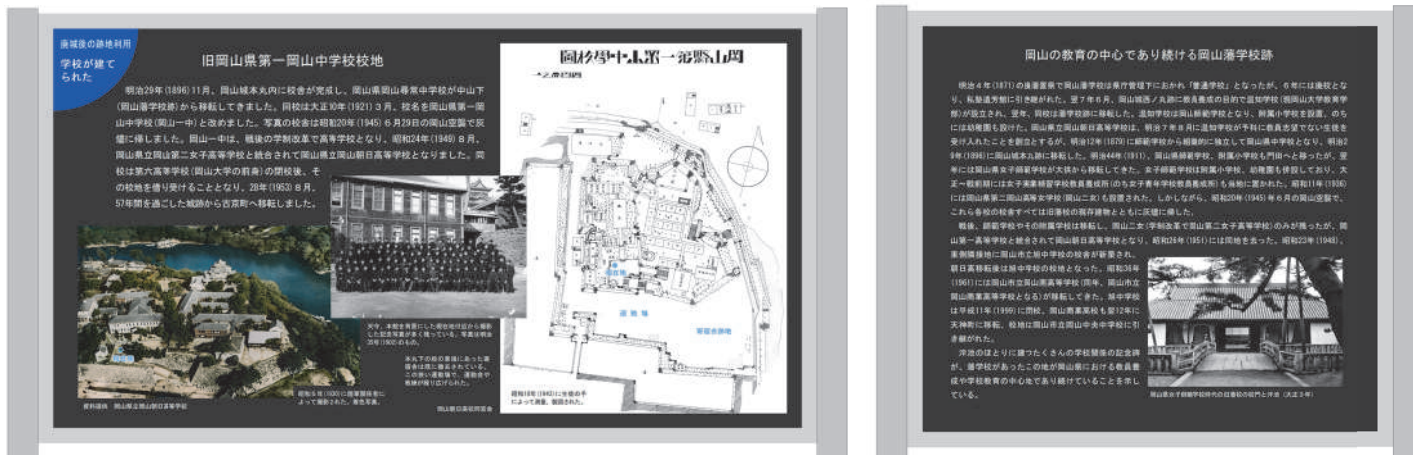


昭和初年の第六高等学校

岡山朝日高等学校／旧第六高等学校 校内歴史散策マップ

創立150周年を機に、校内に登録有形文化財や校地・校舎の歴史を紹介する説明板を設置しました

旧校地である岡山城本丸跡や藩校跡にも説明板を設置します



岡山城本丸中の段(表書院跡)に設置予定のもの

岡山藩学校跡に設置予定のもの

校名と校地の変遷

- 明治7年(1874)8月4日 温知学校予科〔岡城西ノ丸跡(旧岡山市民会館辺り)、同8年、西中山下(岡山藩学校跡)に移転〕
- 明治9年(1876)2月25日 岡山県師範学校予科(許可:3月5日)
- 明治9年(1876)6月2日 岡山県師範学校変則中学科(許可:9月14日)
(変則中学科を变則中学校に改めているはずなので、校名変更はあるはずだが詳細はわからない)
- 明治12年(1879)2月10日 岡山県中学校
- 明治18年(1885)3月2日 岡山県岡山学校中学科
- 明治19年(1886)8月11日 岡山県尋常中学校
- 明治28年(1895)3月17日 岡山県岡山尋常中学校〔明治29年11月21日、岡山城本丸跡に新校舎が完成して移転、この日はのちに創立記念日となった〕
- 明治32年(1899)4月1日 岡山県岡山中学校
- 明治34年(1901)5月2日 岡山県立岡山中学校
- 大正9年(1920)4月 岡山県岡山中学校
- 大正10年(1921)3月11日 岡山県第一岡山中学校
- 昭和11年(1936)3月4日 岡山県第二岡山高等女学校〔西中山下(岡山藩学校跡)に設立〕
- 昭和23年(1948)4月1日 岡山県立岡山第二女子高等学校
- 昭和24年(1949)8月31日 岡山県立岡山朝日高等学校〔昭和28年8月に現校地に移転完了〕

(2024.7作成)



岡山県立岡山朝日高等学校創立150周年記念事業実行委員会